



みんなで創る みんなで支える

CCT 瓦版

2021年 12 月号
VOL:175



山口香山公園
十月桜と紅葉

お知らせ

1. 12月の会議日-

- 11日(土) 運営委員会 10:00~ 学生ホール
スポーツ部会・文化部会 9:20~ 広報部会 11:30~
- 4日(土) ふれあい部会 13:00~

2. 12月の不定期講座

・哲学って何	1日	水	10:30~	7110号室
・和布刈を謡う会	3・17日	金	13:30~	住吉神社社務所
・クラシック音楽	18日	土	13:30~	2号館 2707号室
・太極拳(月)	6・13・20日	月	15:15~	さくらスタジオ
・太極拳(水)	8・15・22日	水	15:15~	さくらスタジオ
・ドイツ語	2・9・23日	木	9:30~	7110号室
・イタリア語	2・9・23日	木	10:40~	7110号室

3. 冬休み 12月27日(月) から 4年1月5日(水)まで

12月の活動日、1月の開始日は各講座でご確認ください。

4. 2022年度役員を選出について

『みんなで創る、みんなで支える』クラブの要となる次年度の役員を選出して、1月末までに事務局へ提出してください。

5. 勝山スポーツ教室に陸上競技が加わりました。

6. 気功は1月7日(金)、功夫扇は1月12日(水)から始まります。

〈CCT事務局〉東亜大学 7号館 7109号室 13時~15時

TEL: 083-250-5032 (留守番電話に)

Email: cct2008@water.ocn.ne.jp

ホームページの検索は『 CCT東亜 』

会員数
518名
10月31日現在

勝山スポーツ教室開講について

コミュニティークラブ東亜(略称:CCT)は下関市の地域住民が自発的にスポーツや文化、芸術活動に親しみ自己実現並びに健康増進活動を行うとともに、会員相互の交流を計り、明るく豊かな生活に資することを目的として「みんなで創る・支える」を標語として活動しています。今年度より新規事業として、勝山スポーツ教室を開講しました。この事の位置づけは、CCT規約第一章、第3条本クラブは、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行う。**2) 子供の健全育成を図る活動 3) 社会教育の推進を図る活動**に位置付けられます。社会的には、文部科学省の学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の一環で休日部活動への段階的移行の第一歩として実施するものです。現在は実践研究段階ですが、令和五年度から全国的に推進されます。指導者や活動場所の確保或いは経費の負担、加えて当該者の生徒・保護者の理解を得ることが必要になります。

勝山スポーツ教室については、硬式テニス部は指導者(謝金)、運営費、活動場所、生徒・保護者の理解を受けて(11月より陸上部が加わりました)実施されています。大会の引率は教師が学校部活動として引率することにしています。

また、中学校の部活動指針とCCT規約の整合性は図られていますが、常に活動状況を把握しておくことが大切です。

現状は硬式テニス部と陸上部ですが、この二部以外のスポーツで指導できる方がおられればぜひ声を上げて頂ければ幸いです。

会員の皆様に一層のご理解とご支援をお願いいたします。



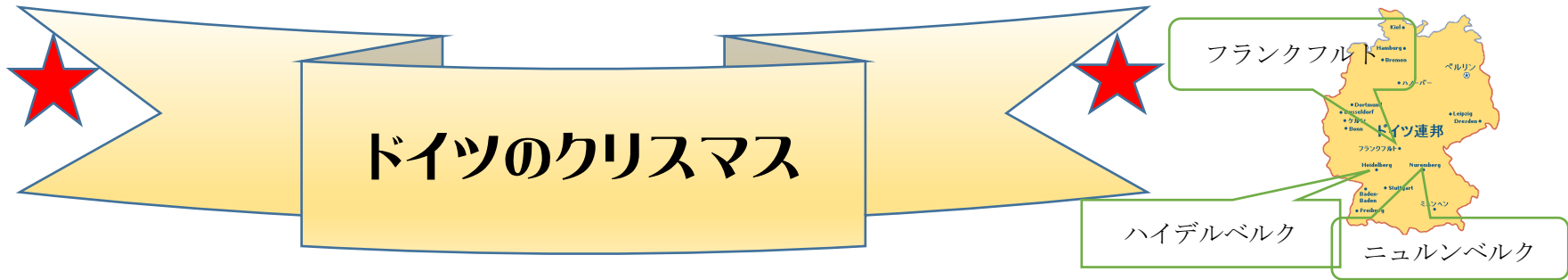
令和3年11月吉日

コミュニティークラブ東亜

会長: 有賀 俊一



毎年都市ごとに違うグリュウワインカップ



2019年12月12日から16日までフランクフルトのインターコンチネンタルホテルを起点にクリスマスマーケット7か所の町の旅でした。12月というのに暖かく穏やかでした。

福岡空港10:30発、ソウルで乗り継ぎして12時間。フランクフルト空港現地時間 17:20着。夜のフランクフルト散策。屋台が並んでいます。たくさんの人々。若者たちが楽しんでいます。

立ったまま飲んだり食べたり。日本の祭りのようです。あいにくの雨の中、傘をさしてあの有名なホットワインを飲む。ワインに慣れていない感想は……、マッシュルームのチーズフォンデュは塩辛い。寒い国だからであろうかそのカップは持ち帰りできませんでした。

二日目はハイデルベルクへ。昼間の散策。この街も屋台がずらり。夜になるとライトアップされて、ワインやホットドッグ等の屋台が作られもっと賑やかになるそうです。

ヒルシュブルグではワイン工場の見学会。ワインの楽しみ方の説明を受けながら試飲。とっても美味でした。そして楽しいランチの主食はジャガイモでした。

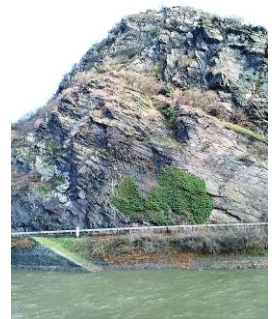
シュトットガルトへ行くバスの中から見た景色はグリム童話が生まれたこんもりとした森が見えました。日本の森のように深くないのです。

三日目はニュルンベルクの散策。夜はローテンブルク観光。最後の日です。リュードスハイムまでの道のりは道路片側にワイン畑、緩やかな勾配で、太陽の光が当たるように作られているようでした。ここでもワインの試飲を堪能。

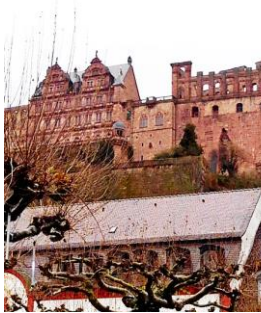
最後の楽しみはライン川クルーズ。川沿いにたくさんの古城が右に左に。シューンブルク城、ラインシュタイン城。ライン川の水は濁っています。雪解け水だからです。ローレイの岩の近くを通るとローレイのメロディーが聞こえてきました。あっという間に旅は終わりました。



ローテンブルグのツリー



ローレイの岩



ハイデルベルグ城



ニュルンベルクの聖ローレンツ教会



ドイツ旅行から2年経ちましたが、まだコロナウィルスが世界中に蔓延しています。早く終息し、もとのように平和な日々が戻ってくることを願い祈ります。

山口 博見